

教科	家庭	科目(単位数)	家庭総合(2)	学年	1年	類型	普通科
学習目標	<p>(知・技) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能が習得できるようになることを目指す。</p> <p>(思・判・表) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけることができるようになることを目指す。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけることができるようになることを目指す。</p>						
期間	単元(学習内容)	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法		
【1学期】 4月～5月	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント ・子どもの誕生 ・子どもの成長・発達	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産までの過程と胎児の成長・発達の関係について理解できるようになる。 ・乳幼児期特有の体の成長・発達の特徴を理解できるようになる。 ・妊娠の確認、母子健康手帳、妊婦検診など、妊娠・出産に関わる知識を獲得することができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の心身の成長・発達の過程について考えを深め、まとめたり、発表したりできるようになる。 ・現代の子どもの心身の成長・発達について、生活や遊びなど近年の少子社会における子どもを取り巻く環境の変化などを視野に入れ、課題をみつけ、それらの原因および解決方法をまとめたり、発表したりできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の心身の成長・発達とその特徴を、子どもが育つ環境と関連させて考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・レポート 		
【1学期】 6月～7月	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント ・子どもの生活と保育 ・子育てと子どもが育つ環境	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣、社会的な生活習慣について理解できるようになる。 ・親の果たす責任と役割について理解できるようになる。 ・事前研究やロールプレイングなどを通して、子どもに対する親の働きかけの方法や親としての態度などもまとめたり、発表したりできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の重要性と子どもの人間形成について、親としてどうあればよいかを考え、意見交換できるようになる。 ・育児不安や児童虐待などの事例をふまえ、それらの原因および解決方法をまとめたり、発表したりできるようになる。 ・地域の子育て支援や子育てを支援する制度について調べたり、発表したりできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育てられる立場と育てる立場の両方の視点に立って、命の誕生について考えることができるようになる。 ・子育てへの社会的支援のありかたや支援策は、どうあればよいかについて考えることができるようになる。 ・近年の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、よりよい環境を保障するために親や家庭、社会が果たす役割は何かを考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・レポート 		
【2学期】 9月～10月	第10章 衣生活のマネジメント ・衣生活をつめる ・快適な被服 ・被服製作の基本(被服実習あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活を取り巻く課題、日本人と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めることができるようになる。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身につけることができるようになる。 ・縫製の基本技術の正しい方法を理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化を認め合うことや慣れ親しんだ衣文化について理解することについて考えを深め、まとめたり、発表したりできるようになる。 ・自分らしい着装について考え、まとめたり、発表したりできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活について振り返り、課題を見つけようとしてすることができるようになる。 ・衣文化に関心を持ち、人間と被服との関わりについて考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・実習の記録 		
【2学期】 11月～12月	第10章 衣生活のマネジメント ・被服の材料 ・被服の形 ・被服と安全 ・衣生活の計画と管理 ・被服製作の基本(被服実習あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができるようになる。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身につけることができるようになる。 ・縫製の基本技術の正しい方法を理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服材料に応じた被服整理や適切な衣生活の管理について考えることができるようになる。 ・資源・エネルギー問題や環境保全に配慮した再利用や適正な廃棄の方法などについて考えを深め、積極的に取り組むことができるようになる。 ・環境に調和したライフスタイルのあり方について思考を深め、考えをまとめたり、発表したりできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服材料の性能と特徴について、着心地などと関連させて具体的に考えることができるようになる。 ・洗濯の種類や汚れの種類、洗剤の成分について関心を持ち、合理的な洗濯の方法について考えることができるようになる。 ・環境に配慮した衣生活の営みについて考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・実習の記録 		
【3学期】 1月～2月	第5章 高齢期のマネジメント ・高齢期という時期 ・高齢期の生活と課題 ・高齢期の生活を支える高齢者福祉 ・高齢社会の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にもなう心身の変化と特徴を理解し、それを支える具体的な方法や留意すべきことなどについて理解できるようになる。 ・生徒の居住地域の高齢化の状況や福祉サービスについて調べ、まとめたり、発表したりすることができるようになる。 ・日本の高齢化の特徴と課題を理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴の一般的变化と個人差に気づき、高齢者の生活の現状と課題について具体的に考えを深め、まとめることができるようになる。 ・わが国の高齢化の特徴や生徒の居住地域の高齢化の状況をふまえ、高齢者福祉サービスについて具体的に考えを深め、まとめたり、発表したりすることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状や課題、高齢者の自立生活支援はどうあればよいかなどについて考えることができるようになる。 ・高齢者の介助技術を積極的に習得しようとしてすることができるようになる。 ・家族・地域における世代間交流の実践について考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・レポート 		
【3学期】 2月～3月	第11章 住生活のマネジメント ・住生活の成り立ち ・家族の生活と住空間 ・健康で安全な住計画 ・よりよい住環境の実現をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能について理解できるようになる。 ・健康に配慮した室内環境の整備について理解できるようになる。 ・平面図が読み取れ、住空間の計画について検討できるようになる。 ・防災・減災に対する備えができるようになる。 ・住宅の品質確保、メンテナンスといった住まいを管理する視点をもって、自分の住まいを見直すことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本社会の気候風土に合わせた住まいの工夫について調べたことを、まとめたり、発表したりできるようになる。 ・健康に配慮した室内環境の整備、住まいの計画的な維持管理などについて考えを深め、まとめたり、発表したりできるようになる。 ・住まいの寿命について、諸外国の事例を調べたりして、日本の現状と比較しながら、メンテナンスの重要性について考えを深めたり、発表したりできるようになる。 ・自然環境や社会環境と住生活の関連などについて調べたり、考えを深めたりできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活の文化に関心を持ち、住まいの機能、人間と住まいとの関わりについて考えることができるようになる。 ・家族構成、ライフステージ、生活に関わる価値観などに応じた住空間の計画について検討できるようになる。 ・防災・減災について理解し、自分の住まいや地域の住環境を見直すことができるようになる。 ・住まいを長持ちさせる管理について関心をもつことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート 		
長期休業	ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解することができるようになる。 ・目標を明確にし、計画を立てて実践できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のなかから課題を見だし、課題解決に向けて思考を深め、適切に判断することができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の学習の発展としてホームプロジェクトについて関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組むことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・スライド ・発表 		
使用教材(教科書・副教材)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう」 大修館書店 						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において、自己の生活と関連付けながら学習する。また、実習課題やホームプロジェクトに関しては、作品の提出を必ずおこなう ・ホームプロジェクトにおいては、自らテーマを設定し、課題を見だし、その解決を図りながら、実践・改善等をおこなう ・各単元において、新聞記事やグラフの読み取りをおこない、自分の考えをまとめ、班で意見交換をおこなう ・書籍や新聞記事等を利用し、学んだことをリンクさせ、深い学びに繋げる ・実験・実習を通して、知識を深める 						
評価について	<p>定期考査8割、平常点(授業態度、実習点、レポート、単元小テストなど)2割 ※課題等が期限内に提出できない場合、成績が出ませんので、欠点となります。</p>						